

## 任意団体ちぐさ研究室の活動報告と収蔵標本の展示

川上えりか・清水美波  
(任意団体 ちぐさ研究室)

### はじめに

私たち「ちぐさ研究室」は、2021年春に岡山県西栗倉村に移住してきた2名による、西栗倉村を拠点に山や森林に親しむ場をつくる団体である。

子どもから大人まで、森林に興味がある人もない人にも、気軽に森林に触れ楽しむ多様な切り口を作ることを目的に結成した。現在は、主に無人駅を活用した活動・展示拠点「ちぐさ顕微室」の運営や、あわくら図書館での村民講師企画「やまと森の知らない世界」の企画運営、森林ガイド、動植物の標本作成、その他植物に関する情報発信などを行っている。

### 活動①無人駅を活用した活動・展示拠点「ちぐさ顕微室」の運営と標本製作活動

智頭急行あわくら温泉駅の待合室スペース内にて、活動と展示の拠点となる「ちぐさ顕微室」を2023年3月に開設した。待合室の壁面や空きスペースを活用し、村内で収集した昆虫標本・植物標本や、動植物に関するパネル展示を常設している。「顕微室」という名前には、私たちの身の回りに存在している大小さまざまな世界に、訪れた人や関わってくれた方々と潜っていき、「微(かす)かなものを顕(つまび)らかにする」場所にしたいという思いを込めた。2023年度は、標本づくりや林道探検などの独自イベント「顕微会」を全5回開催し、近隣地域の方を中心に延べ45名の方にご参加頂いた。

独学ではあるもの、昆虫・植物・骨格標本についても、製作と保存を試みている。地域の方にも活動の周知が広まりつつあり、ロードキルなどによって死亡した動物の遺体の引き取り依頼を頂く機会も増え、標本製作作業が追いついていない状況である。今後も地域の方を巻き込みながらの標本製作、調査や展示資料の充実化を進め、森に対する好奇心や探求心をバックアップするような場所を目指していきたい。



写真1 図鑑作家の林先生による若杉天然林ツアー



写真2 あわくら温泉駅での展示

### 活動②あわくら図書館村民講師企画「やまと森の知らない世界」

あわくら図書館の「村民講師企画」の1つとして、シリーズ講座「やまと森の知らない世界」を2021年6月より開始し、令和6年1月末現在で全20講座を実施してきた。4歳から70歳まで、幅広い世代の参加者延べ152名に参加頂いており、今年度は毎木調査のワークショップ、昆虫採集イベントなどを行った。昆虫採集イベントでは、ライトトラップやピットフォールトラップ、ライトトラップといった、虫網を使わない昆虫採集方法を中心に、参



写真3 毎木調査ワークショップ

加者の方に実際に採集を体験して頂いた。採集した昆虫は運営側で標本化し、展示資料としての活用に繋げることができた。

### 活動③情報発信

西栗倉や周辺地域の山の植物の情報や豆知識、日々の活動やイベント開催情報について SNS にて発信している。また、2023 年 10 月から、日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社が運営するウェブメディア「新林」にて、年に 4 回の連載「ちぐさ研究室の研究日誌」を開始した。私たち自身が面白いと感じた少しマニアックな実験や調査の方法を季節ごとに紹介している。

### 今後の展望

2023 年度は、定期的なイベント開催を継続することに加え、地域内の友人や、イベント参加者を巻き込んだ昆虫標本・植物標本の収集を進めることができた。その結果、収蔵標本を 100 点近くに増やすことができた。今後は収集するだけでなく、データ化と Web 上での公開も視野に取り組んでいきたいと考えている。引き続き「ちぐさ顕微室」の運営やイベントの開催などを行いながら、私たち自身も学びを深めていきたいと考えている。